

2021年秋季対抗戦から施行する【新しい検査方式】についてのご説明

2021年7月20日
関東学生ゴルフ連盟
会長 黒須一雄
感染対策委員会一同

加盟校、加盟員並びに関係者の皆さま

平素より本連盟の競技運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。
特に感染対策面で細部に渡ってご対応いただき、心より感謝申し上げます。
早速で恐縮ですが、表題の件につきまして、下記の通りお伝えさせていただきます。

◎本連盟主催の2021年秋季全ブロック対抗戦（男女）・2021年朝日杯関東地区予選（男女）の事前検査を「抗原検査」で執り行います。

*最新の抗原検査で、変異株にも対応

決定に至った背景として、

- 1, 各校の皆さまが、ガイドライン遵守にご協力頂き、実績値（競技での感染者ゼロ）踏まえ、感染対策の精度が向上している点。
今までの結果検証から、PCR検査でなくても対応可能となってきた。
- 2, 抗原検査は、検査したその場で、判定結果が出る「迅速性」がある。
- 3, 検体採取後の返送作業が必要なく、検体到着遅れや発送段階でのミスが無くなる。
- 4, 検査実行する際の信頼できる相手先が（抗原検査の取りまとめ先）が見つかった。
*本連盟の運営内容、検査段取りや感染対策内容を熟知されている
- 5, 検査費用も特別価格で対応して頂き、費用負担面（コスト面）での優位性あり。
- 6, 現地での体調不良者への対応選択肢が増える。（その場で検査判定が可能な為）
- 7, ワクチン接種済み者も増えることが予想され、総合的に感染対策の再構築を判断。

上記項目での要因から、抗原検査導入が可能と判断し、決定に至りました。

①今回の抗原検査について具体的説明

Anywhere（株）様のご協力により、最新で変異株にも対応の抗原検査です。

*本連盟の感染対策の姿勢に賛同して頂き、ご協力頂きました

検査精度が高いとされる、鼻腔から採取する（鼻に綿棒を入れて採取）やり方となります。

②段取りについて

・まず、指定練習日の4日前に検査キットが、各大学の代表者1名（送り先リストに挙げて頂いた方）に届きます。

また、送り先から離れた遠方に部員（選手）がいる場合、代表者がその該当する部員にキットを送るなり、直接渡すなりを部内で完結し、キットが出場選手全員に行き渡るよう、責任を持って取りまとめて下さい。

↓

・代表者の方（又は主将、主務など）の主導のもと、指定練習日の前日もしくは前々日に検査実施 *検査精度上、上記実施日は、必ず遵守して下さい

↓

・検査実施後、15分程で判定が出ますので、判定がわかり次第すぐに、代表者の方は、全員分の判定写真を「検査結果報告フォーマット」(Excelファイル)にまとめ、以下のメールアドレス宛に提出して下さい。

ksga.kensa@gmail.com（担当：感染対策委員 高山、山本）

*今回の検査工程では、この判定報告を間違いなく、正確にレスポンスして頂けることが肝心な部分となります。勿論、全員陰性であれば指定練習日よりご参加下さい。

なお、この段取りやスケジュールに関しては、競技の3~4週間前にホームページ掲載される、各競技の「感染対策要項」に、詳しく記入させていただきます。*ブロックによって、試合環境が異なるので、男女ブロックごとに「感染対策要項」を発信いたします。

(現段階では、おおよその流れを把握して頂ければ結構です)

また PCR 検査の時は、エントリーと同時に検査受診者名も必要でしたが、今回の抗原検査では、エントリー時に検査受診者の人数（無記名でOK）のみご連絡頂ければ結構です。

*上記の「検査結果報告フォーマット」（ここに名前を入れて頂きます）が、指定練習日前日に届いた段階で、団体エントリー（選手登録）を兼ねることとしますので、正確にお名前の記入をお願い致します。

③検査費用について

今回の抗原検査費用については、出場選手と主務1名（またはそれに準じる者）は、全額、本連盟負担とさせていただきます。

指導者の方（但し、入場は2名まで）は、ご一緒に受けて頂いて構いませんが、実費費用の一人770円をご負担頂きます。他の検査機関で受けられた方は、競技会当日までに陰性証明（またはそれに準じるもの）をご提示お願い致します。

*「ワクチン2回接種済み者」に関しては、7月15日ホームページ掲載文をご参照下さい

④留意点について

従来とは異なる「鼻から検体採取」となるので、くれぐれも採取ミスがないよう、よろしく
お願い致します。説明書が添付されているのでご参照下さい(わかりやすい説明書です)。

*念の為、予備のキットを各校 2 個添付します。但し、出場並びに検査人数が 6 名以下
の場合、予備は 1 個とします。

予備が未使用となった場合、不測の事態に備えて、そのまま保有して頂いて結構です。

⑤陽性判定者が出た場合

もしも「陽性」判定が出た場合、その方は、日本国の様式に従った行動をとって下さい。

(医師・保健所への相談・連絡)

また、陽性判定者は、陽性判定の結果を部の責任者(指導者、主将、主務など)に必ず報
告して下さい。

報告を受けて、責任者は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判
断をおおい下さい。大学当局からの指示が「チームの出場を認める」或は「出場を辞退
する」など、どういう裁定にせよ、速やかに本連盟に必ずご一報下さい。

*同一校から 2 名以上陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大学は出場
できません。(但し、活動拠点が全く別で、普段からの接触がないことが証明された場合、
この限りではありません)

⑥その他、付記事項

欧米でワクチン接種が進んでも、変異株が猛威をふるい、感染者数が拡大する実態は周知
の通りです(ホームページに掲載した通り、ワクチン接種が絶対的ではない実状)。

世情を見ても、規制を緩めると感染者数が増し、まだまだ予断は許さない状況が続きます。
やはり、人流を抑え、移動の制限をすることで感染を防ぐという、皆さんがご存知の基本
対策、そしてガイドライン記載の競技 14 日前水際対策が、より大切となって参ります。

よって本連盟は、「年内競技に関してはギャラリーの入場は不可」とさせて頂きます。

もちろん、未来永劫、ギャラリーを入れないというわけではなく、安全管理上、もう少し
辛抱して頂きたいと存じます。ご理解頂ければ幸いです。

感染拡大が収まり、選手も伸び伸びプレーし、ギャラリーの応援の音が響き渡る、従来の
姿がいち早く戻ることを、全ての関係者皆さんが祈っている事と思います。

引き続き、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。